

## &lt;全体分析&gt;

試験時間 60分

## 解答形式

記述式

## 分量・難易 (前年比較)

分量 (減少・やや減少・変化なし・やや増加・増加)

難易 (易化・やや易化・変化なし・やや難化・難化)

大問数は6題から4題に減少し、設問数も減少した。

## 出題の特徴や昨年との変更点

昨年度は解答形式が記述式+マーク式であったが、記述式のみになった。

毎年、論述問題が出題される。

## その他トピックス

Iでダイヤモンドや銀の単位格子を覚えておかないと解けない問題が出題された。

IVでバイナリー発電の二次流体としてペンタンが使用される理由が問われた。

## &lt;大問分析&gt;

番号	出題形式	出題分野・テーマ	範囲	コメント(設問内容・答案作成上のポイントなど)	難易度
I	空所補充 選択 記述 計算	理論 無機	化学基礎 化学	結晶 非晶質, ケイ素の結晶構造, 結晶の分類, アルゴンの結晶, カリウムの保存法	標準
II	空所補充 論述 記述 計算	理論	化学基礎 化学	酸化還元反応 イオン化傾向, ブリキ, 燃料電池, 酸化数, 電気分解	やや易
III	空所補充 選択 記述	理論 無機	化学基礎 化学	酸素, 硫黄の単体と化合物 化学結合, オゾンの性質, 硫黄の化合物の製法と性質, 硫化物の沈殿	標準
IV	空所補充 記述 選択 計算 論述	有機	化学	C <sub>5</sub> H <sub>12</sub> の決定とペンタンの利用 元素分析, 異性体, バイナリー発電におけるペンタンの利用	標準

※難易度は5段階「易・やや易・標準・やや難・難」で、当該大学の全統模試入試ランキングを基準として判断しています。

## &lt;学習対策&gt;

高校化学全般の知識を要する問題が出題される。化学基礎, 化学の全分野の基礎力を確立し, 数多くの演習問題にあたり, 力をつけるよう努めること。また, 毎年出題されている論述問題の対策として, 常日頃から変化や現象を化学的に分析, 考察する態度を身に付けておこう。